

緊急情報

今年の中干しは 早く、しっかりと!

田植後1カ月に満たなくても、稲の茎数が目標穂数の7割になったら速やかに中干しを始めましょう!

① 5月28日現在の生育状況（生育観測田）

		㎡当たり茎数（平年比／前年比）		株当たり茎数
コシヒカリ	能登県平均	172本（平年比：144％／前年比：152％）		9.8本／株
		189本（平年比：142％／前年比：179％）		10.5本／株
ゆめみづほ	能登県平均	168本（近年比：146％／前年比：150％）		9.5本／株
		241本（近年比：164％／前年比：186％）		13.5本／株
ひやくまん穀	能登県平均	105本（近年比：143％／前年比：150％）		5.2本／株
		114本（近年比：128％／前年比：156％）		5.8本／株

・これまでの高温・多日照により、稲の茎数が例年よりもかなり早く増えています。

② 今後も高温が続く見込みであり、茎数増加の勢いは衰えず、稲の茎は毎日、株当たり1本程度増加することが予想されます。

そのため、**中干し開始の遅れは**

茎数過剰 = 籾数過剰 = 乳白多発（品質低下）に直結します。

★無駄な茎の発生を抑制し、米の品質を向上させるため、稲の茎数が中干し開始茎数になったら速やかに中干しを始めましょう!

③ 中干しを始める茎数の目安（目標穂数の7割、60株植の場合）

		ゆめみづほ	コシヒカリ	ひやくまん穀
目標穂数	㎡当たり	436	382	350
	株当たり	24	21	19
中干し開始茎数	株当たり	16	14	13